

記念講演会

特別展「空海一史上最強、讃岐に舞い降りた不滅の巨人」関連企画

空海が日本彫刻史に残した足跡

平安初期彫刻史における空海と弟子たちの果たした役割をめぐって



空海は偉大な宗教家であるとともに、日本の文化にも巨大な足跡を残した人物である。特に漢詩文や書などの分野では、その功績が高く評価されている。

しかしながら、それだけではなく、空海とその弟子たちは、平安初期彫刻史の造仏活動にも重要な役割を果たしていた。

その足跡を追って、彼らの造仏活動が平安初期彫刻史にいかに大きな影響を与えたかを明らかにしていきたい。

日時

令和5年4月23日(日) 13:30~15:00(13:00開場)

講師

ねだちけんすけ
根立研介氏

(本展監修者、京都大学名誉教授、公益財団法人美術院理事長)

専門は日本彫刻史。主な著書として、『日本中世の仏師と社会』(塙書房、2006年)、『運慶』(ミネルヴァ書房、2009年)、『ほとけを造った人びと』(吉川弘文館、2013年)、『日本中世肖像彫刻史研究』(中央公論美術出版、2022年)などがある。



会場

香川県立ミュージアム 講堂(地下1階)

参加料

無料

定員

230名 ※要事前申し込み(3月22日(水)から受付開始・先着順)

申込方法

電話、【香川県】電子申請・届出サービス

「【香川県】電子申請・届出サービス」を利用したインターネットからのお申し込みは、県立ミュージアムホームページ右下の「関連リンク」から「【香川県】電子申請・届出メニューのページへ」をクリックしてください。

■お申し込み・お問い合わせ先

香川県立ミュージアム

〔学芸課〕高松市玉藻町5番5号

TEL (087)822-0247

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum/>



*当館では、どなたにも利用しやすい施設運営を心がけており、身体に障害のある方や高齢の方などに安心してご利用いただけるよう、車イスの貸出しなどを行っています(詳しい設備や対応については、当館ホームページの「バリアフリー情報」をご覧ください)。

*当館が行う各種イベントへの参加に当たって、何らかのお手伝いを必要とされる場合には、お申し込みの際にその旨をお知らせください。